

緊急事態措置協力支援金（飲食店等）【6月分】 申請書

<様式1>

令和 3年 6月 日

措置区域用

北海道知事 鈴木 直道 様

営業時間短縮等の要請に協力しましたので、緊急事態措置協力支援金（飲食店等）【6月分】の支給を申請します。

法人の記載例

《重要》以下の申請方法に該当する方は、【5月分】から変更がない場合、チェックを入れることで、★印の項目の記入を省略できます。
(変更がある場合は記入してください)

- 【5月分】の支援金の支給を申請している方
- 【5月分】と同時に申請を行う方（【5月分】【6月分】の両方の提出が必要です）

【事業者情報】 申請する事業者の所在地	〒041-0000 北海道 函館市美原丁目番号											
	固定電話 0138-00-0000 携帯電話 090-0000-0000											
連絡先 ※お問合せ先	固定電話 0138-00-0000 携帯電話 090-0000-0000											
ホームページURL ※ある場合	https://www.000.co.jp											

固定電話、携帯電話欄は担当者の直通電話や業務用携帯電話等、日中連絡が取れる連絡先を記入

【法人】 申請事業者名	法人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	0	0	0
	フリガナ	カブシキガイシャ ホッカイドウ												
担当者★	代表取締役	代表取締役社長					代表者氏名		渡島 太郎					
	所属部署	総務部経理課					フリガナ		ヒヤマ ハナコ					
E-mail	keirika@hokkaido.com													
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、新型コロナウイルス感染症対策に係る支援策等について情報提供がある場合に、配信を希望される場合は、左にチェックしてください。													
資本金の額又は出資の総額★	500万 円					常時使用する従業員の数★		25 人		(令和3年3月31日時点)				
企業規模区分★	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業 <input type="checkbox"/> 大企業 ※該当するほうにチェックを入れてください。													
通知書送付先★	※上記事業者の所在地とは別の送付先を指定する場合は、こちらをご記載ください。 〒 該当する区分にチェックを入れてください。													

「《重要》」欄にチェックを入れた方で、中小企業と大企業の区分に変更がない場合、従業員数に変更があっても記入不要です。

【個人事業者】 申請事業者名	フリガナ													
	名称													
生年月日	代表者役職						代表者氏名							
	西暦	年	月	日										
E-mail★	<input type="checkbox"/> 今後、新型コロナウイルス感染症対策に係る支援策等について情報提供がある場合に、配信を希望される場合は、左にチェックしてください。													
個人事業者の自宅住所★	〒													
通知書送付先★	※上記事業者の所在地及び自宅住所とは別の送付先を指定する場合は、こちらをご記載ください。 〒													

いずれかにチェックした場合、本書の振込先口座の記入及び通帳の写しの提出が不要になりますが、代わりに支援金通知書番号の記入と通知書の写しの提出が必要になります。

【口座振替の申し出】 北海道から支払われる協力支援金については、下記により口座振替払いとして															
過去の支援金の申請状況★	昨年度の下記支援金で申請している場合、口座情報の提出を省略できます。 省略を希望する場合、どちらか一つをチェックしてください。各支援金通知書の左上														
	<input type="checkbox"/> 令和2年 「北海道 休業協力・感染リスク低減支援金」 で申請をした口座を指定します。														
振込先口座★ (注1)	金融機関	△△					銀行・信用金庫 信用組合・協同組合		函館		本店			支店	
	金融機関コード	0	0	0	0	支店番号		0	0	0					
	預金種目(注2)	普通 当座					口座番号(右詰めで記入)		0	0	0	0	0	0	0
口座名義人★ (カナ)	口座名義フリガナ(注3)	カ) ホッカイドウ													
	口座名義人	株式会社 北海道													

「施設数の合計」「支給金額の合計」について、【5月分】【6月分】を同時に申請する場合でも月ごとに記入してください。

※ 必ず申請者名義の口座を指定してください。(法人の場合は、当該法人の口座に限ります。
注1 ゆうちょ銀行の場合は「記号番号」を記入せず「店名」「口座番号」をそれぞれの欄にご
注2 お振込みは、普通預金口座、又は、当座預金口座のいずれかのみとなります。
注3 「口座名義フリガナ」は通帳中面の「おなまえ」欄にカタカナで記載されている名義をご記入ください。

申請する施設数の合計	1	施設	申請する支給金額の合計	1,580,000
------------	---	----	-------------	-----------

注 審査の結果、申請いただいた全部又は一部の施設について、支給対象外となる場合があります。施設ごとの支給金額は、企業規模や売上高等に応じて算出されます。
支給金額の合計については、全ての申請施設の金額算出後に記載してください。
※ 申請書等は、ご提出前に写しを取ってお手元で保管してください。

【申請施設の情報】 要請対象期間中、**全ての期間にご協力いただいた施設**

※ 要請対象期間は、令和3年6月1日（火）から6月20日（水）までです。
 以降からご協力いただいた場合には、支援金の対象外となります。

例：居酒屋、レストラン、喫茶店、バー、スナック
 カラオケボックス、結婚式場等の業態を記入

フリガナ	ホッカイドウレストラン ハコダテシテン		業種 業態	レストラン
名称	北海道レストラン 函館支店		電話番号	0138-■■-▲▲▲▲
住所	〒041-0000 北海道函館市西桔梗町●番地●号		従来からの営業時間	11:00 ~ 23:00
取組施設 要請期間の 取組内容及び 協力開始日	要請期間（6月1日～6月20日）の全てにおいて、 <input checked="" type="checkbox"/> 営業時間を午前5時から午後8時までの間に短縮（休業を含む）しました。 <input checked="" type="checkbox"/> 酒類の提供（利用者による酒類の店内持込を含む）を午前11時から午後7時までの間としました（酒類の提供を終日行わない場合を含む）。 <input checked="" type="checkbox"/> 各感染防止対策の実施と業種別ガイドラインの遵守をしています。 特に次の取組について、徹底して行っています。 ・ アクリル板等（パーティション）の設置（又は座席の間隔の確保） ・ 手指消毒の徹底 ・ 食事中以外のマスク着用の推奨 ・ 換気の徹底 <input checked="" type="checkbox"/> 飲食店営業許可を受けている店舗において、カラオケ設備を提供している場合、当該設備の利用を行わない。 ※上記項目に全て該当することが支援金支給の要件です。			
	要請期間における営業時間を記入してください。 休業した場合は「99:99～99:99」とご記入ください。	11:00 ~ 20:00		
	要請期間における酒類の提供時間を記入してください。 終日、提供をやめた場合は「99:99～99:99」とご記入ください。	11:00 ~ 19:00		
中小企業（個人事業者を含む。以下同じ。）の下限額での申請希望	中小企業で、1日当たりの売上が83,333円以下のため、売上高の確認できる資料の提出を省略し、 支援金の下限額（2万5千円/日）で申請される場合 、下記にチェックを入れてください。 ※この場合、申請に必要な書類のうち、売上高の確認できる次の資料は提出不要となります。 ・ 1日当たり売上高を算出した年（2019年又は2020年）の6月の売上台帳等の帳簿の写し ・ 2020年の確定申告書「別表一（第一表）」を提出している場合は、2019年の確定申告書「別表一（第一表）」の写し ・ （法人）2020年の法人概況説明書を提出している場合は、2019年の法人事業概況説明書の写し ・ （個人）青色申告決算書の写し、又は白色申告収支内訳書の写し <input type="checkbox"/> 当施設（店舗）については、支援金の下限額で申請します。			

※ 複数施設を申請する場合は、このページと次のページをコピーして使用してください。

申請する施設（店舗）ごとに本頁及び次頁（支給金額計算手順書）を作成してください。

【支給金額の計算手順】

店舗名

北海道レストラン 函館支店

質問1: 「中小企業」、「個人事業者」、「大企業」の中から、業態を選択してください。

■ 「中小企業」、「個人事業者」を選択した場合は、2019年又は2020年6月の売上高を記入してください。

質問2: 2019年又は2020年の6月の1日当たりの売上高(地方消費税を除く)はいくらですか?

2019年又は2020年の6月の売上 1日当たりの売上高…①

7,874,000 円 ÷ 30 = 262,467 円

※小数点以下切り

☆2020年6月2日以降に営業を始めた方は次の計算式により

2020年6月2日以降に営業を始めた方のみ記入する欄です。

営業開始から2021年5月31日までの売上高合計額 営業開始日から2021年5月31日までの日数(土日祝含む) 1日当たりの売上高…①

円 ÷ 日 = 円

※小数点以下切り上げ

●83,333円以下の場合…1日当たりの支援金額【A】25,000円(定額)【A】 円

●83,334円以上、250,000円以下の場合

1日当たりの売上高に0.3をかけて1日当たりの支援金額【B】を算出

1日当たりの売上高…① 1日当たりの支援金額 ⇒

円 × 0.3 = 円 ⇒ 【B】 円

※千円

①-②の数字を記入(エクセルは自動入力)

●250,001円以上の場合

質問3: 2019年又は2020年の6月の1日当たりの売上高と比較して、2021年の6月の1日当たりの売上高の減少額が187,500円以下ですか?

2021年の6月の1日当たりの飲食業の売上高を計算してください。

2021年の6月の売上高 1日当たりの売上高…② 1日当たりの減少額…③

1,674,000 円 ÷ 30 = 55,800 円 ⇒ 206,667 円

※小数点以下切り上げ ※③=①-②

◆減少額が187,500円以下の場合…1日当たりの支援金額【C】75,000円(定額)

【C】 円

◆減少額が187,501円以上の場合

1日当たりの減少額③に0.4をかけて1日当たりの支援金額を算出

1日当たりの減少額…③ 1日当たりの支援金額 ⇒ 支援金額…④

206,667 円 × 0.4 = 82,666.8 円 ⇒ 83,000 円

※千円未満は切り上げ

左記の数字が200,000円を超える場合は、200,000円と記載

1日当たりの売上高①に0.3をかけて1日当たりの支援金額を算出

1日当たりの売上高① 1日当たりの支援金額 ⇒ 支援金額…⑤

262,467 円 × 0.3 = 78,740.1 円 ⇒ 79,000 円

※千円未満は切り上げ

支援金額④、支援金額⑤のいずれか低い額

【D】 79,000 円

支給金額算出

当該期間の支給金額

【A】～【D】の該当金額 協力日数

79,000 円 × 20 日 = 1,580,000 円